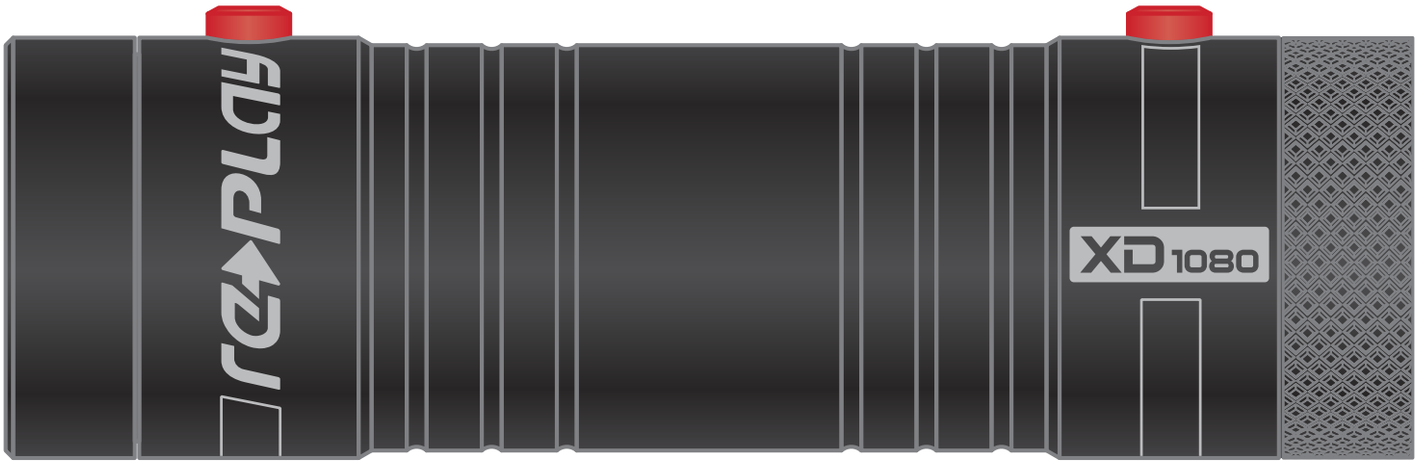
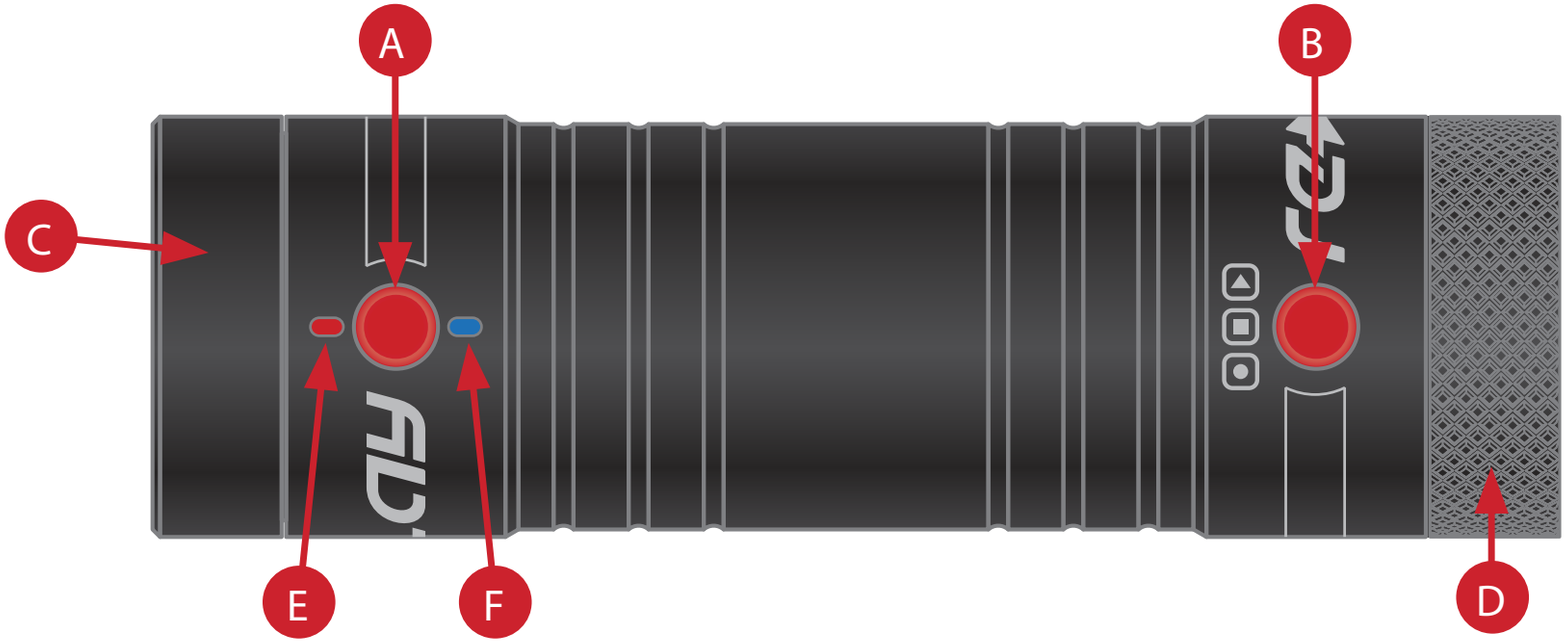
replay XD1080

LIFE'S IN HD... REPLAY IT.™

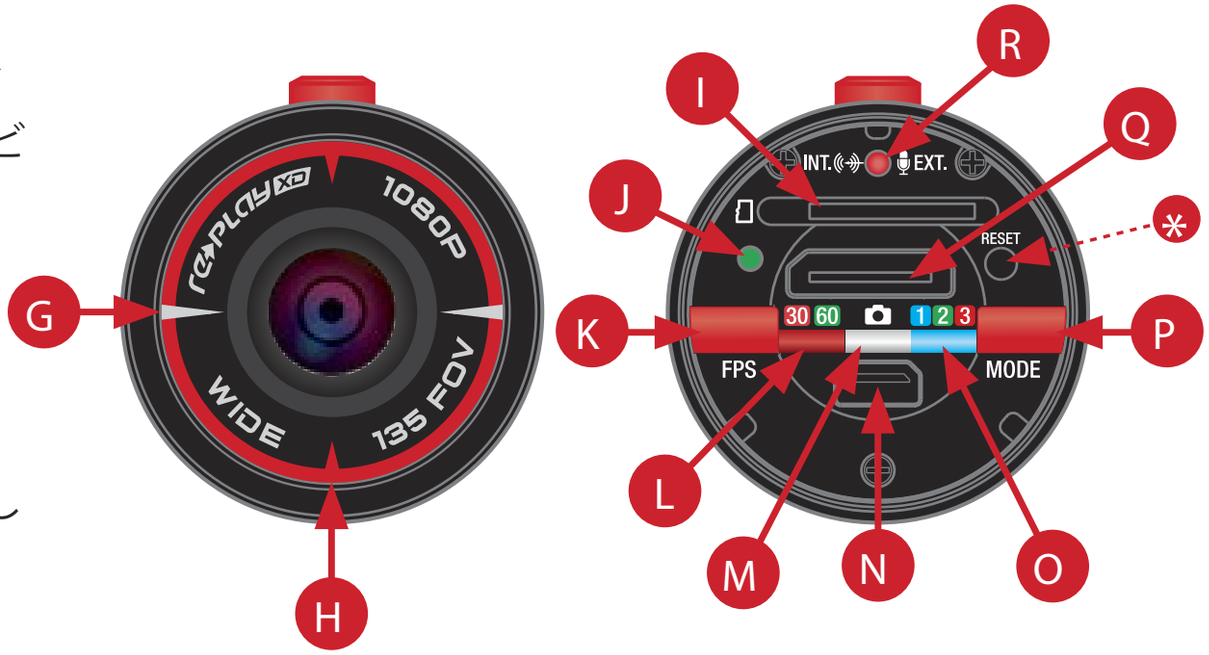


motozen 禅

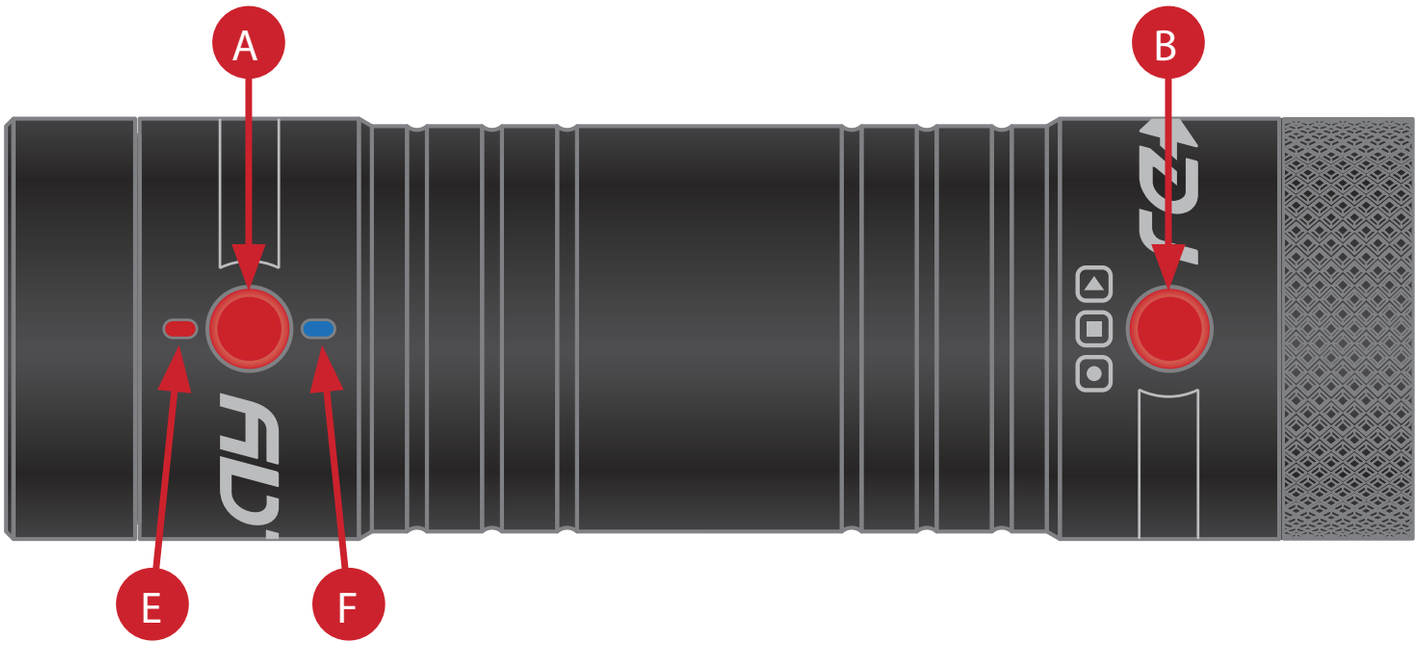
クイックスタートガイド



Replay XD1080カメラ
(A) 電源オン/オフ、[HDMIサムネイル選択]
(B) 録画、停止、クリップ、[HDMIビデオ再生]
(C) リムーバブルレンズカバー
(D) 取り外し後端キャップ
(E) 録画オン/オフ赤LED
(E) 電源オン/オフ青LED
(G) 水平視線
(G) 垂直視線
(I) microSDHCスロット
(J) 充電中緑のLED、SDカードなし赤のLED
(K) フレームレートボタン(FPS)
(L) フレームレート赤/緑LED
(M) 写真キャプチャ / ラインインLED
(N) ミニUSB 8ピンポート
(O) モード青/緑/赤LED
(P) モードボタン(ビデオ/写真)
(Q) ミニHDMIポート(AVアウト)
(R) オーディオラインインボタン(拡張 マイクイン)
(*) マスターリセット



位置付け



Aを押して電源オン/電源オフを切り替えます。Bを押して録画の開始/停止を切り替えます。完了しました。

電源オン(スタンバイおよびモード設定選択): 前部ボタン(A)を2秒間押し下げて放すと、Replay XD1080が3回振動し、青い電源LEDが点灯します。

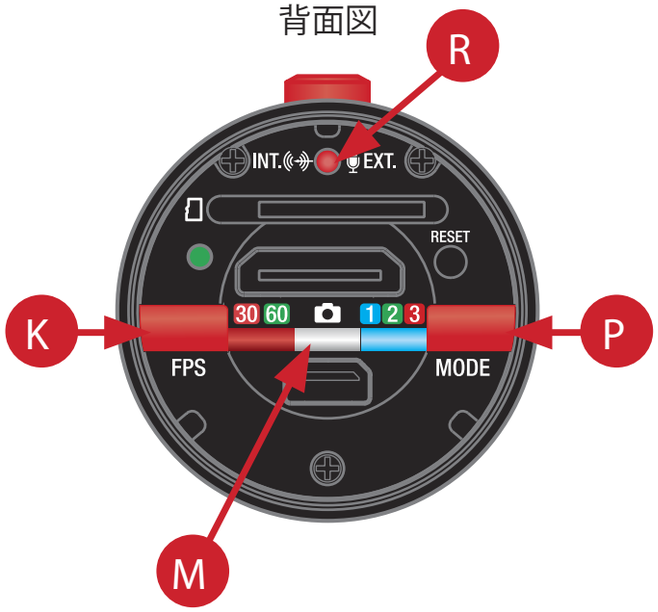
録画の開始: 背面ボタン(B)を2秒間押し下げて放すと、Replay XD1080が3回振動し、赤いLEDが点灯し自動的に録画とキャプチャを開始します。
注: メモリカードが適切に挿入されていないと、背面の赤いLEDが点滅します。 *メモリカードの金色の接点を上を向けてカチッとなるまで差し込み、完全に挿入されていることを確認します。Replay XDが認証したSDカードのみを使用してください。SDカード互換性リストについては、www.replayxd.comにアクセスしてください。*

録画の停止: 背面ボタン(B)を4秒以上押し下げて放すと、Replay XD1080が1回振動しファイルが保存されていることを示します。

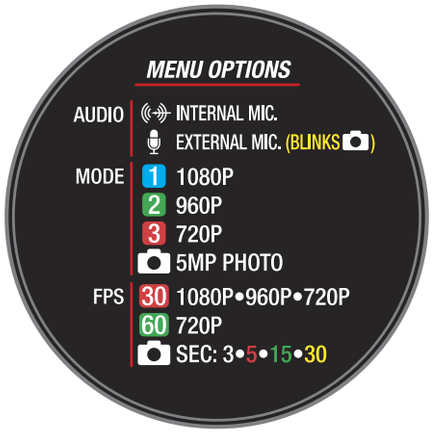
電源オフ: 前部ボタン(A)を4秒間押し下げて放すと、Replay XD1080が1回振動し電源がオフになります。
注: 録画中、電源ボタンは機能しません。これは、思いがけず電源がオフになるのを防ぐための正常の動作です。

ファイルのクリップ: 録画中背面ボタン(B)を素早く押して放すと、Replay XD1080が1回振動してファイルを切り取って保存していることを通知し、それから再び録画またはキャプチャを自動的に開始します。この機能により、録画を開始または停止せずに新しいファイルを開始できます。

背面図



内部背面CAP



モード

ビデオモードまたは写真モード
1. モードボタン(P)を押してビデオ解像度または写真モードを選択します。
2. FPSボタン(K)を押して毎秒のフレーム数または写真の低速度撮影を変更します。

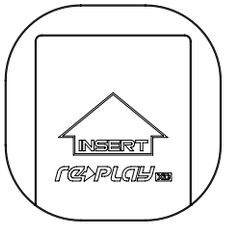
オーディオオプション
1. INT./EXT.ボタン(R)を押してオーディオオプションを選択します。
    a. 内部マイク(デフォルト)
    b. 外部マイクイン(黄のLED (M)が点滅)は内部マイクを無効にします
        外部マイク員はReplay XD1080 HDMIオーディオアダプタまたは
Replay XD1080 HW Kitと互換性があり、www.replayxd.comで入手できます
設定は将来必要に応じて使用できるように保存されます。

上級ユーザーの方、および設定プロファイルについては、
www.replayxd.com/replay-xd1080-advanced/にアクセスしてください

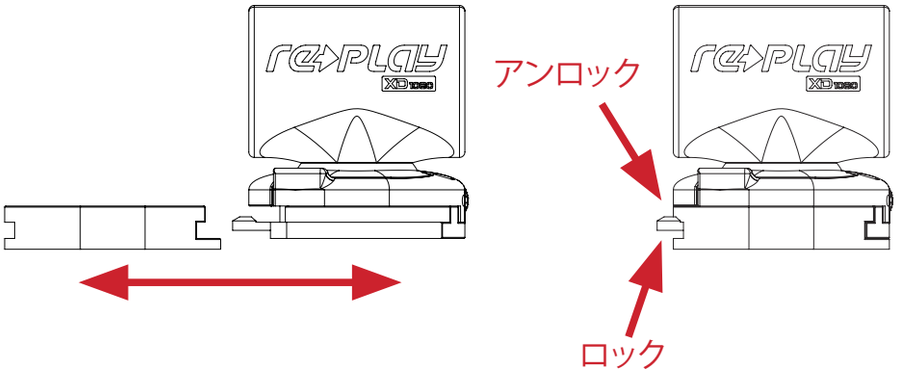
1. Replay XD1080の最高の取り付け位置を見つけ、角度を確認します。硬い面は最高のビデオ画質に理想的です。注: HDMIアウトを使用して容易にフレームを作ったりテスト録画を行い、それをiPad/Mac/PCで確認することができます。
2. Replay XD1080をu-形状のカメラホルダーにはめ込み、希望の回転が得られるまで360°回転します。
3. VHB SnapTrayの接着マウントをきれいでスムーズな面に貼り付けます。
   -平らなSnapTrayは平らでスムーズな面に適しています。
   -湾曲したSnapTrayはヘルメットや放射状面などの湾曲した面に適しています。
   3M VHB接着剤はテクスチャード加工の面には推奨されません。
4. HeimLockマウントが完全に装着してクリック音が鳴るまで、SnapTrayにスライドさせます。
5. ハイムカムレバーを解除し、希望の方向にReplay XD1080を配置することで、スイベルを360°または傾斜を~8°まで調整し、カムレバーをロックします。カムレバーがぴったりしていることを確認します。調整可能なテンションホイール(*)が確実にロックされていることを常に確認してください。

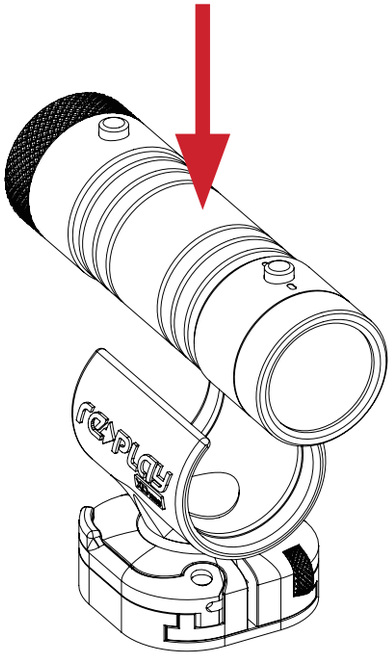
重要
消毒用アルコールを使って取り付け面を洗浄します。 面をよく拭いて乾かしてください。VHBマウントを面に貼り付けます。 60秒間押し続けて、接着剤で面に接着します。付着強度は時間と共に増していきます。室温で、24時間以上待つと90%の付着強度が、72時間待つと100%の付着強度が達成されます。

VHB SnapTray

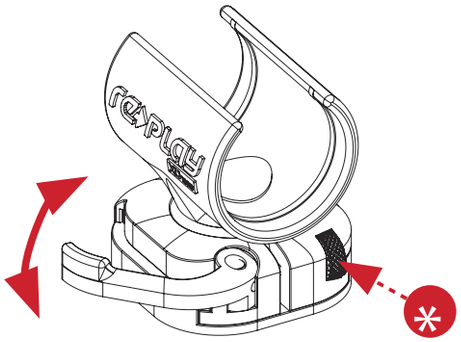


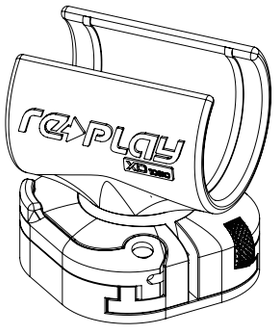
HeimLockマウント



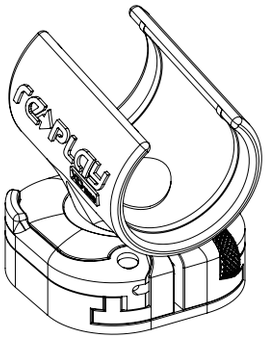


スイベル





傾斜



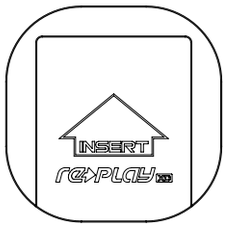
HEIMLOCKマウント

1. Replay XD1080の最高の取り付け位置を見つけ、角度を確認します。硬い面は最高のビデオ画質に理想的です。*注: HDMIアウトを使用して容易にフレームを作ったりテスト録画を行い、それをiPad/Mac/PCで確認することができます。*
2. LowBoyマウントを上下にひっくり返して慎重に広げ、ボタンを切り欠きを通すことでReplay XD1080をホルダーに挿入します。
3. LowBoyマウントの中央にReplay XD1080を置き、希望の角度が得られるまで360°回転します。
4. LowBoyマウントが完全に装着してクリック音が鳴るまで、SnapTrayにスライドさせます。LowBoyマウントには装着したときに回転せず、回転角度が理想的になるようにReplay XD1080を支えるゴムの細片が付いています。SnapTrayにLowBoyを入れたり出したりすることで、微調整を行えます。
5. VHB SnapTray接着マウントをきれいでスムーズな面に付着します。3M VHB接着剤はテクスチャード加工の面には推奨されません。

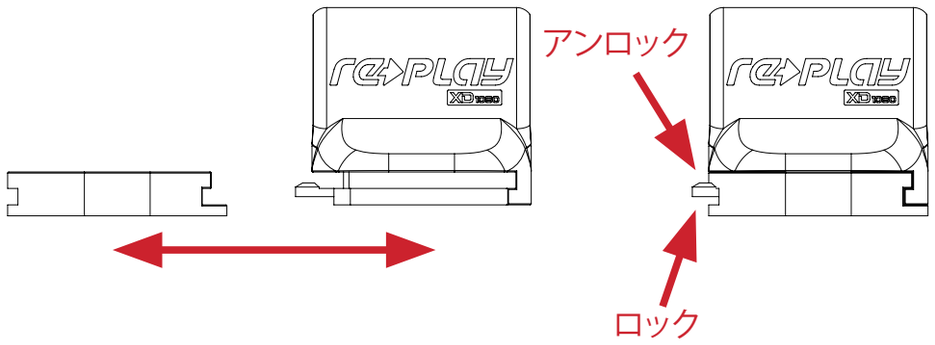
重要

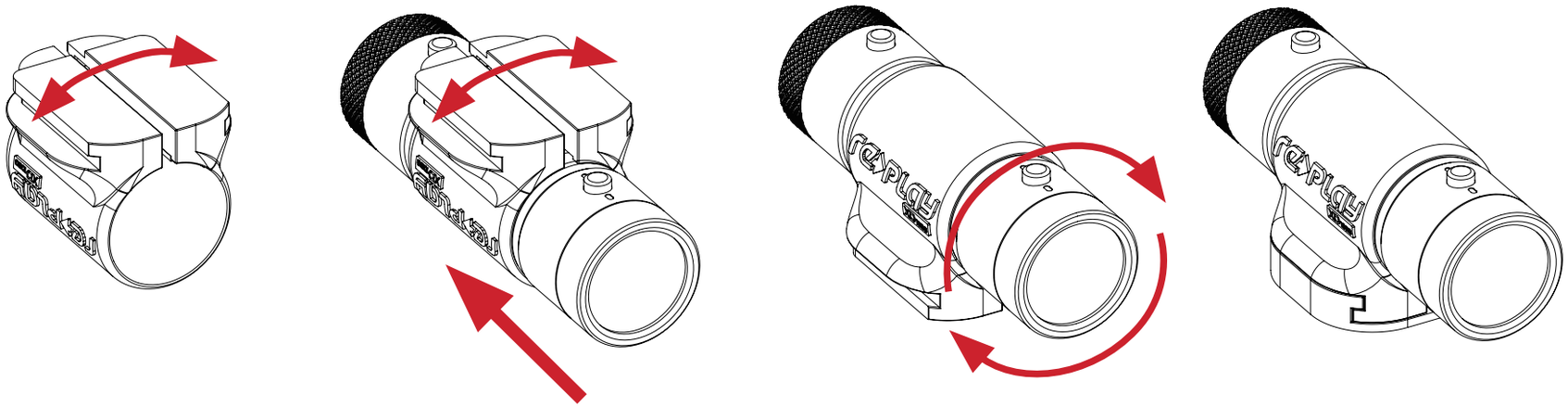
消毒用アルコールを使って取り付け面を洗浄します。 面をよく拭いて乾かしてください。VHBマウントを面に貼り付けます。 60秒間押し続けて、接着剤で面に接着します。付着強度は時間と共に増していきます。室温で、24時間以上待つと90%の付着強度が、72時間待つと100%の付着強度が達成されます。

VHB SnapTray

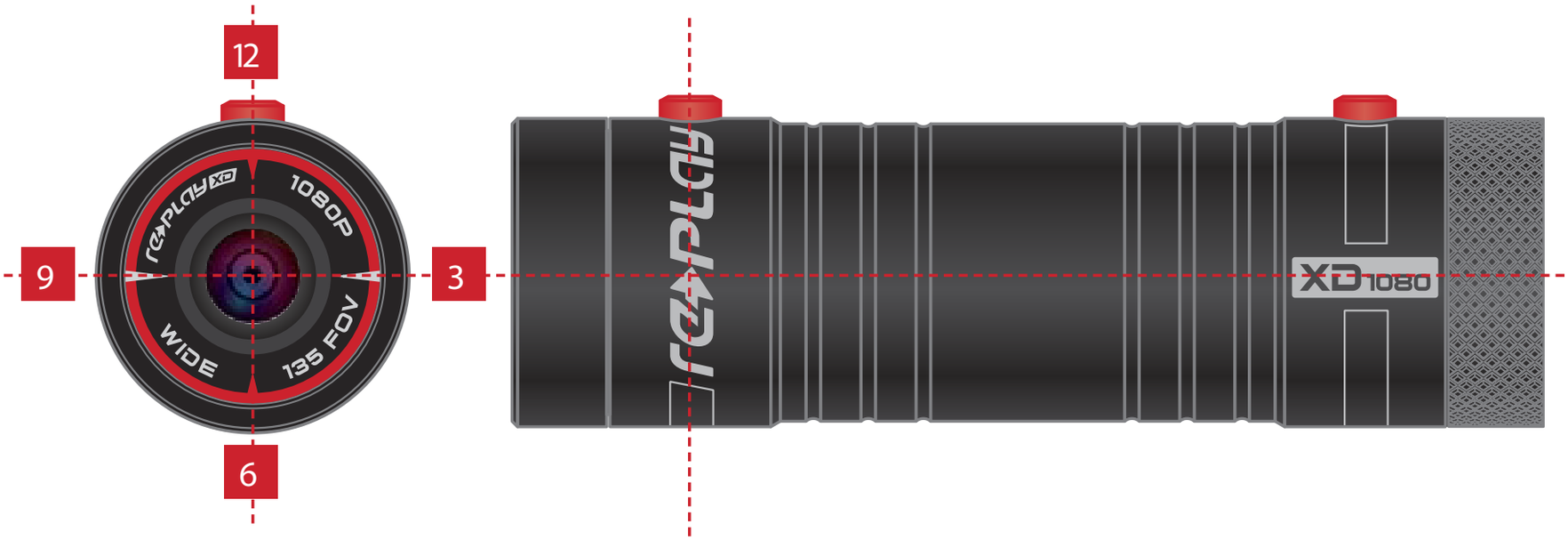


LowBoyマウント





LOWBOYマウント

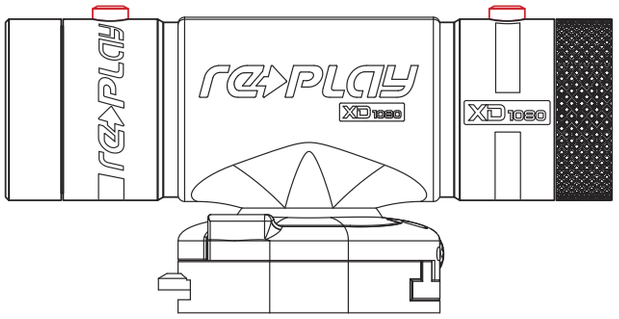


Replay XD1080に正確に向け一直線になるようにするための、基準がいくつかあります。

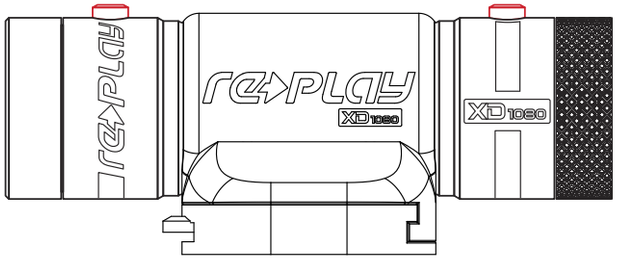
1. 開始RECボタンは、12時の位置を常に指し水平になっている必要があります。
2. 銀の照準マーカーは3時と9時にあり、水平レベルとしての役割を果たせます。
3. 赤い照準マーカーは12時と6時にあり、垂直レベルとしての役割を果たせます。
4. Replay XD1080のレーザーエッチングされたロゴは水平で、傾斜インジケーターとしての役割を果たせます。
5. Replay XD1080を希望の方向に向けていることを確認するには、望遠鏡をのぞき込んでいるように、後部から前部へ筐体の長さ見下ろします。それほど簡単です。

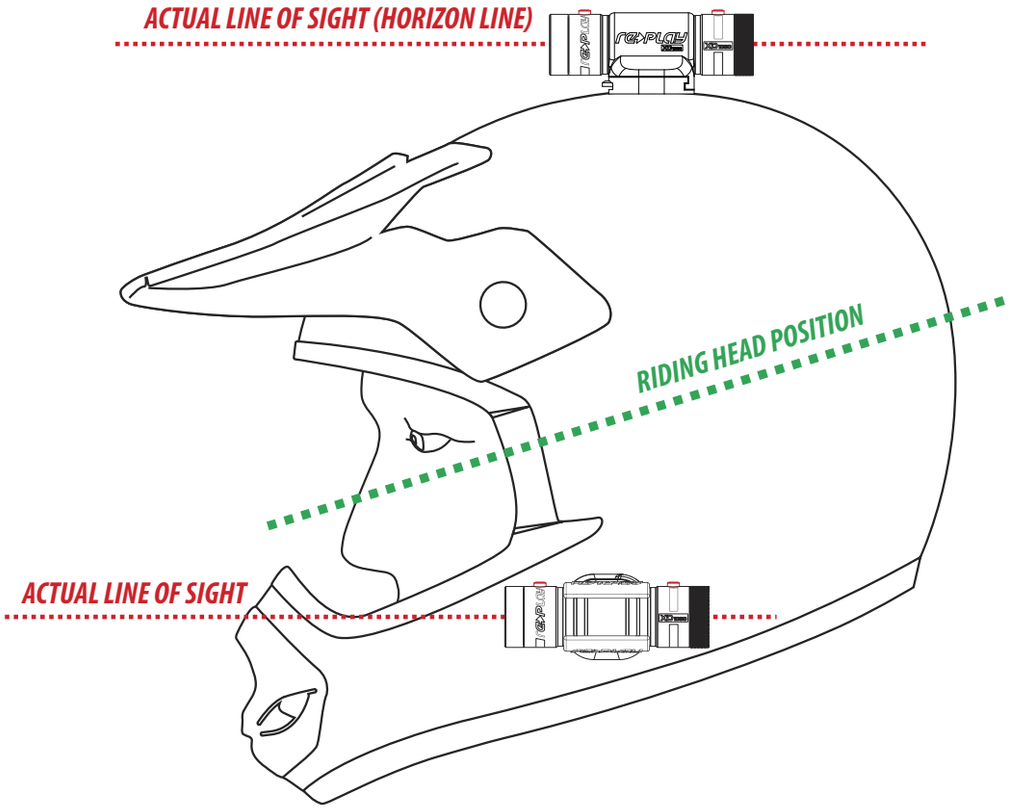
位置合わせ

HEIMLOCKスイベル/傾斜マウント



LOWBOYマウント





直角に取り付けてセットアップ:

1. HeimLockマウントまたはLowBoyマウントを使用しているとき、最適の位置に取り付けるのが重要です。
   可能な取り付け位置については、このページの図を参照してください。
2. ヘルメットに取り付けているとき、ほとんどの人は15°から20°を超えて頭を下げる傾向があります。
   ヘルメット、帽子、操作レバー、車体などのアイテム
   に対する自分の取り付け位置の自然な角度または動作位置を認識するのは重要です。こうすることで、最適の角度が得られ、本職のようにビデオに写ることができます。
3. 裁量の結果を出すには、自分の自転車に乗っている姿と頭の位置を友人に見てもらい乗っている位置に基づいて最適のカメラアングルを選び、VHB SnapTrayを取り付けます。
   HDMIアウトを使用して容易にフレームを作ったりテスト録画を行い、それをiPad/Mac/PCで確認することができます。

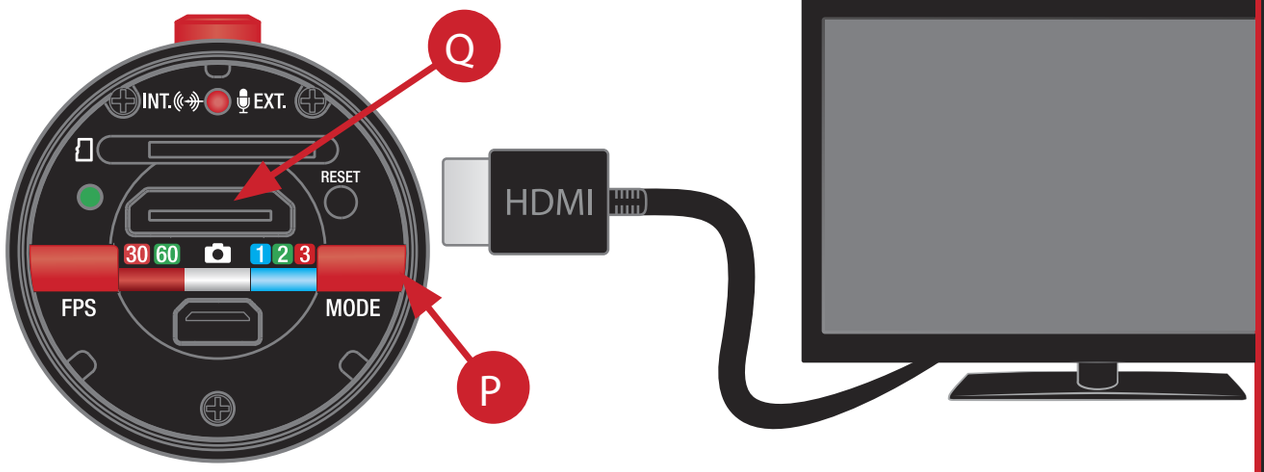
当社のマウントおよびマウントアイディアの全範囲については、www.motozen-japan.jpを参照してください

HDMI LIVE VIEW (手順通りに行ってください)
1. Replay XD1080 HDMIポート(Q)を、付属のミニHDMIケーブルでHDMI互換のTVまたはモニタに接続します。テレビが正しく入力されていることを確認します。
2. Replay XD1080 (A)の電源をオンにします。
3. Live Viewは画面からライブ画像を表示します。

4. オプション: Live Viewの間、画面アイコンを切り替えます。モードボタン(P)を押します。
5. オプション: Live Viewの間に録画します。microSDHCカードを完全に挿入します。録画ボタン(B)を押し、Live Viewで録画を開始します。

注: Live Viewの間すべての機能 (モード/FPS選択、microSDHCカードへのライブ録画、互換HDMIレコーダー、デッキ、スイッチ、トランスミッターへの同時HDMIライブビデオ出力、など)を操作できます。

背面図

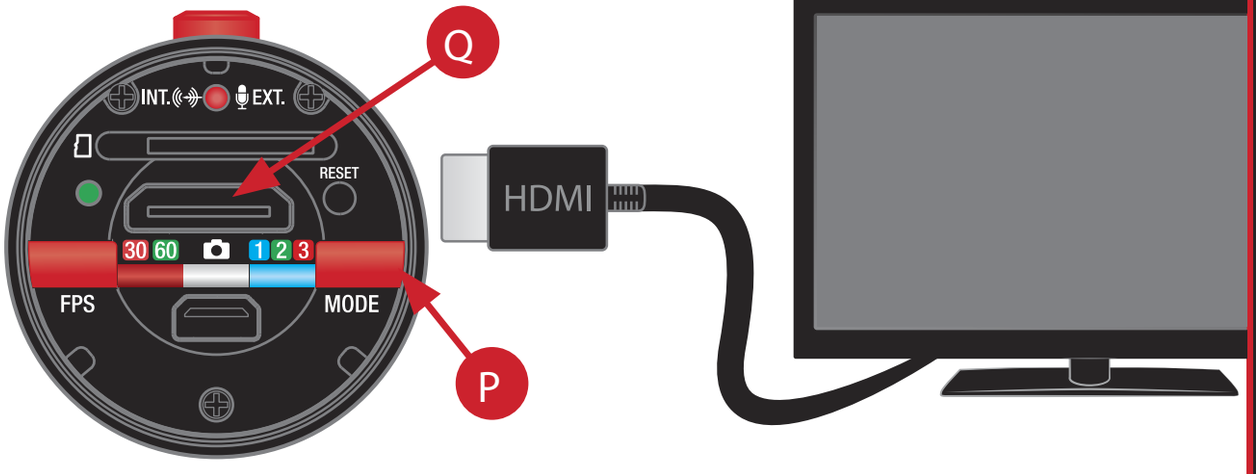


HDMIライブビュー

HDMI再生(手順通りに行ってください)

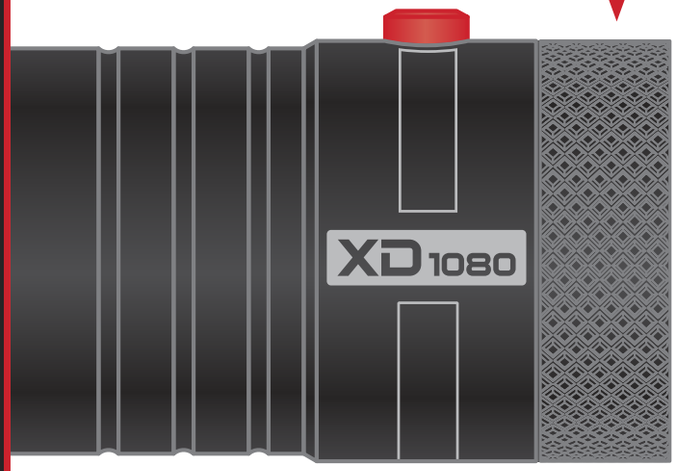
1. microSDHCカードが完全に挿入され、録画されていることを確認します。
2. Replay XD1080 (A)の電源をオンにします。HDMIを切断します。
3. Replay XD1080 HDMIポート(Q)を、付属のミニHDMIケーブルでHDMI互換のTVまたはモニタに接続します。テレビが正しく入力されていることを確認します。
4. ビデオまたは写真サムネイルが画面に表示されます。
5. 電源ボタン(A)を素早く押して、各サムネイルを順番に表示します。
6. 再生ボタン(B)を押して、ビデオまたは写真を選択し再生/一時停止します。
7. 電源ボタン(A)を素早く押して、サムネイルメニューに戻ります。
8. *オプション: Live Viewの間、画面アイコンを切り替えます。モードボタン(P)を押します。*

背面図

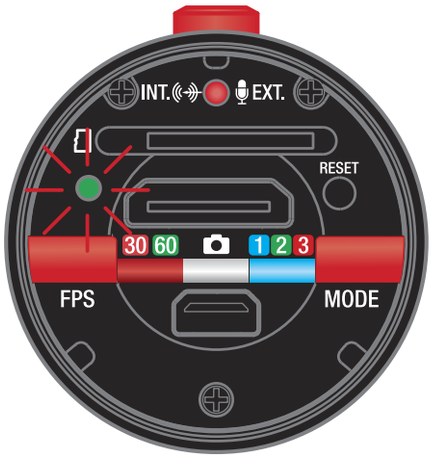


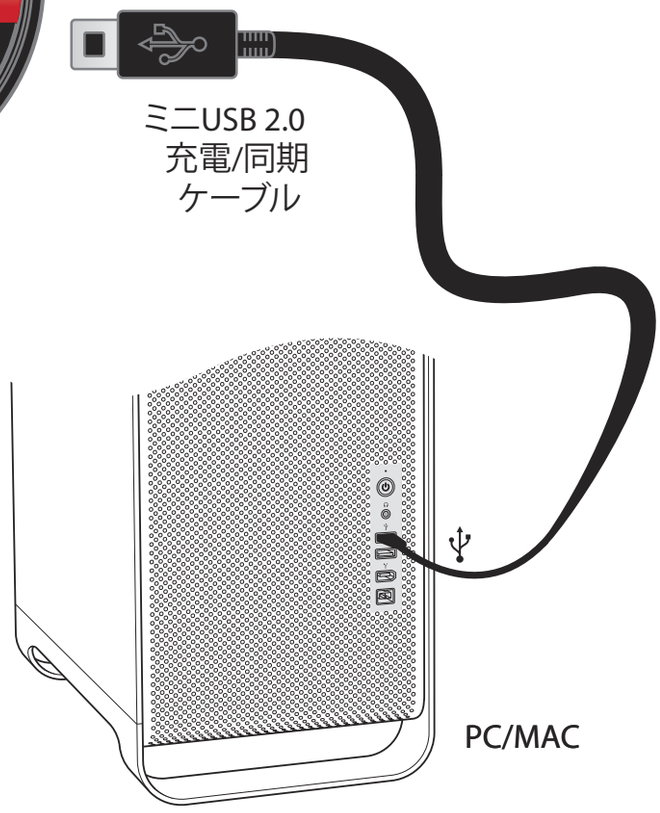
HDMI再生

側面図



背面図





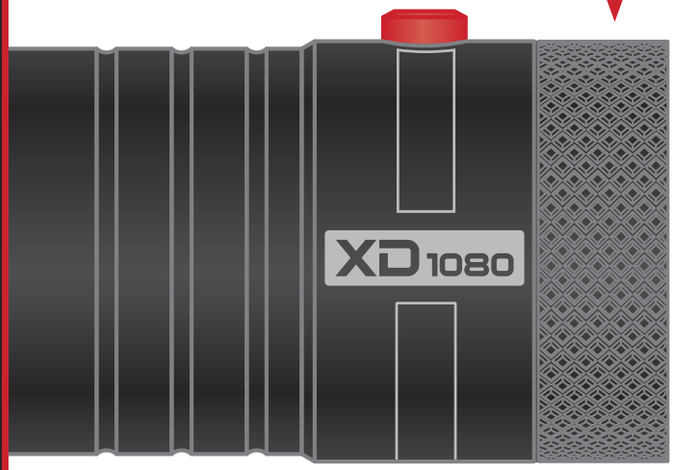
1. 背面保護キャップを取り外し、付属のミニUSBケーブルを Replay XD1080 USBポートに接続します。
2. USBケーブルを付属のAC壁アダプタ、カーアダプタ、またはPC/Mac USB 2.0ポートに差し込みます。
3. Replay XD1080背面の緑の充電状態LEDが点灯し、充電中であることを示します。緑のLEDがオフになると、バッテリはフル充電され充電は完了しています。

注: PC/Mac USBポートを通して充電すると、AC壁コンセントやカーアダプタを使用した場合の約2倍の時間がかかります。PC/Mac USBポートを通して充電している間録画することはお勧めできません。Replay XD1080はPC/Mac USBポートとほぼ同じ電力を消費するため、Replay XD1080またはコンピュータが損傷する可能性があります。

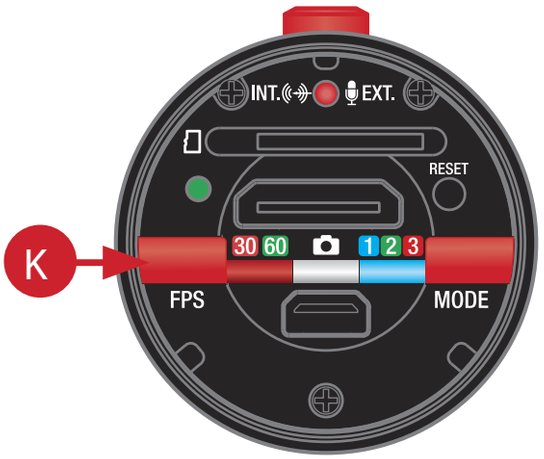
Replay XD1080はフル充電で、最適条件下で約122分間録画できます。極端な高温または低温は、バッテリ寿命に影響を与えることがあります。

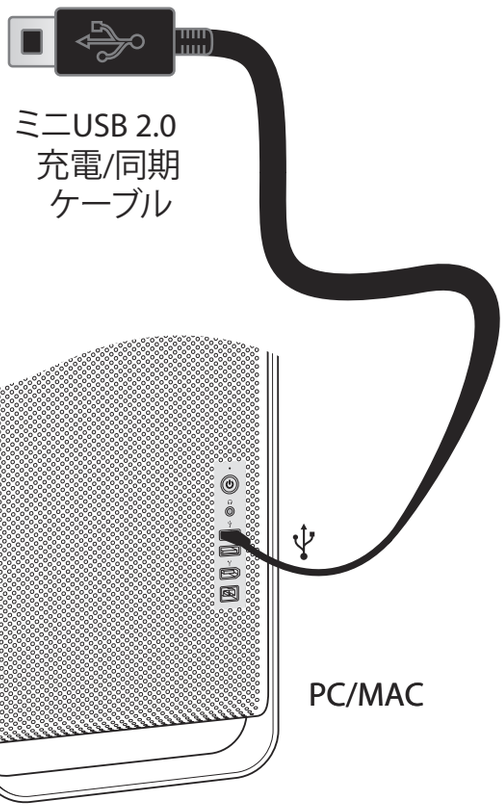
充電中

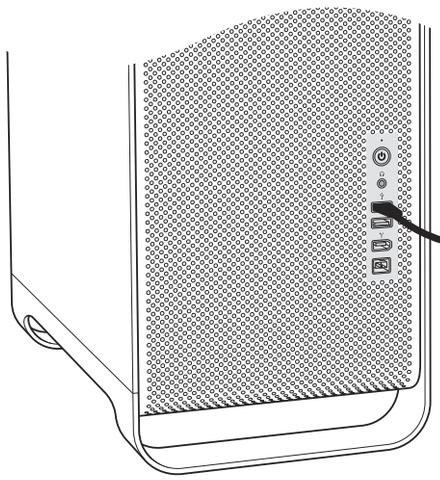
側面図



背面図







1. 背面保護キャップを取り外し、オプション(1)またはオプション(2)を使用します。
2. オプション(1):Replay XD1080からmicroSDHCを取り出し、SDHC互換カードリーダーを使用してファイルをコンピュータに転送します。
3. オプション(2):Replay XD1080 USBポートからダウンロードします。
4. USBケーブルをReplay XD1080とPC/Mac USB 2.0ポートに差し込んでください。
5. FPSボタン(K)を押し続けると、Replay XD1080の電源がオンになります。
6. PC/Macで、Replay XD1080はマスストレージデバイスとしてコンピュータに取り付けられます。microSDHCカードに作成されたDCIMフォルダからビデオファイルをダウンロードできます。
(PC/Macから常にデバイスを取り出してください)
注: オプション(2)は遅い転送速度を示します。

USB経由の再生は不安定な再生の原因となるためお勧めしません。まず、PC/Macに映像をダウンロードしてください。

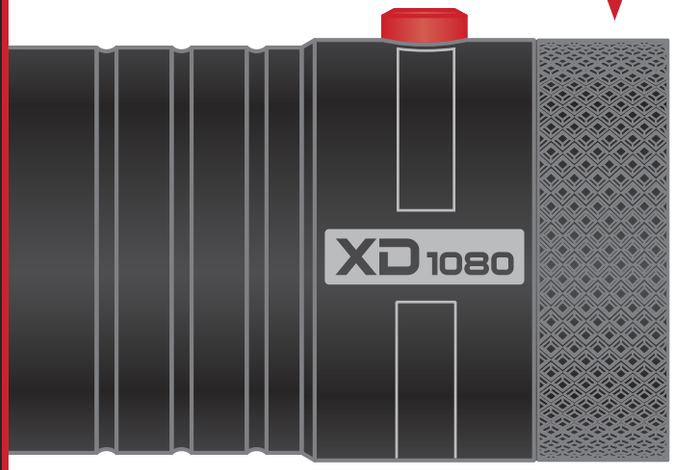
ファイルの消去法

1. 選択したビデオファイルやフォルダをごみ箱に移動します
2. Macの場合: ファインダーに移動し、空のごみ箱を選択します...

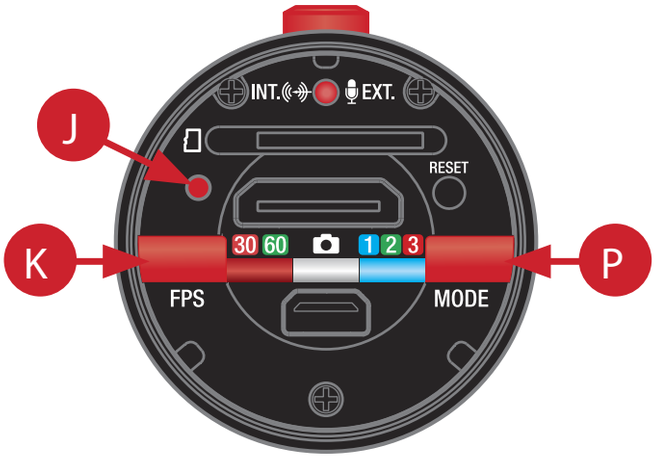
注: ファイルやフォルダをごみ箱に移動しただけではメモリカードからファイルは消去されず、移動されるだけです(ごみ箱を参照)。ファイルはごみ箱が空になるまで、メモリカードに目に見えないように保存されます。

ダウンロード

側面図



背面図



重要: カードが新しい場合、または別のカメラまたはパソコンでそれまでにフォーマットされている場合、カメラでカードをフォーマットしてください。　カードをフォーマットすると、カードの内容はすべて消去されます。　保護された画像も消去されるため、保存する必要のあるものが含まれていないことを確認してください。必要に応じて、画像をパソコンに転送してからカードをフォーマットしてください。

SDカードをフォーマットするとすべての内容が消去されるため、注意してください。

1. FPSボタン(K)とモードボタン(P)を8秒間同時に押し続けます。
2. フォーマット注、背面の赤いLED (J)が赤く点灯します。ボタンから手を放さないでください。
3. 赤いLEDがオフになると、FPSボタンとモードボタンを放すことができます。
4. SDカードが再フォーマットされ、録画をする準備ができました。

SDカードのフォーマット

Replay XD1080はMOVと呼ばれるファイルに記録し、保存します。ビデオファイルは、PCまたはMacのほとんどの現在のメディアプレーヤーと互換性があります。多くのビデオ編集ソフトウェアタイトルは、Adobe Premier、Apple Final Cut、iMovie、Windows Movie Makerなどのボックスと互換性があります。

PC - Windows XP以降

楽に表示するため:
- Windows Media Player、Apple Quicktime、またはVLC Player

クイック編集の場合: (トリミングや変換、など)
- Apple QuicktimeまたはAdobe Premier Elements

完全編集の場合: (試みた結果成功しました)
- Adobe Premier Pro or Sony Vegas 8

MAC - Mac OS X 10.4以降

楽に表示するため:
- Apple Quicktime、VLC Player

クイック編集の場合: (トリミングや変換、など)
- Apple QuicktimeまたはiMovie

完全編集の場合: (試みた結果成功しました)
- Apple Final CutまたはFinal Cut Express、Adobe Premier Pro、または iMovie

コンピュータ構成、編集ソフトウェアプログラム、およびコンピュータに関連づけられたその他の変数があります。当社では、スタートできる上のヒントのリストを提供しています。これらの提案はほとんどのケースで機能しますが、機能しない場合当社では責任を持ちません。互換性があるかどうかは、コンピュータとビデオ編集ソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

一般的なトラブルシューティング質問と回答については、当社のWebサイト(www.motozen-japan.jp)にアクセスしてください

STABLE IMAGING SOLUTIONS, LLC. 限定保証

保証の対象

Stable Imaging Solutions, LLC. (SIS)は製品の購入日から180日間仕上がりと材質に欠陥がないことを保証いたします。

保証の適用外

本保証では、以下による損傷は適用外です。

- あらゆる種類の事故
- 圧力や極端な温度(-20ºC～45ºCの外側)にさらしたり、水に浸したりしないでください。本製品は耐水性はありますが防水処置は施されていなく、衝撃には強くても衝撃耐性はなく、パフォーマンスは極端な温度下では低下します。
- 誤用、不正使用、および不注意を含み、製品に付属の取扱説明書に反する取り付けと操作
- 外観上の損傷。
- 製品の部品の変更。

本保証は、工場で貼り付けたシリアル番号が変更または除去された、または不適切なメンテナンスによる損傷を受けた製品には適用されません。本保証は、SISが製品を販売する国または法的に代理人となっている国で有効です。SISは、製品が本保証のガイドライン内に入っているかどうかを判断する権利を留保します。SISは、故障の原因を判断した後、その同時の裁量権で本製本の補修、修理、または交換をいたします。返送の場合: 保証修理を受けるにはレシート原本を提出したり、製品を返送する前に、商品返品確認(RMA)番号を顧客サービス(1-805-480-9800)から取得する必要があります。RMAがない場合、製品は受け入れられません。

適用法により禁止されている場合を除き、本製品の商業的価値または特定目的への適合性は本保証の継続期間に限定されます。本保証に基づき提供される修理または交換は消費者に対する唯一の法的救済であり、SISは本製品の明示的または黙示的保証の侵害に起因する、いかなる種類の間接的、偶発的または結果として生じる損害に責任を負いません。

STABLE IMAGING SOLUTIONS, LLC. 免責条項

すべての購入者、ユーザー、およびStable Imaging Solutions, LLCの使用に関連または関与するすべての当事者。(「SIS」)製品は以下に同意します:

- SISは、本製品を使用しているとき、不注意または危険行為を奨励または承認しません。
- SISは、それが意図された以外の用途でSIS製品が使用または誤使用された場合に責任を負いません。
- SISは当社製品または違法と見なされるビデオの使用に関して責任を負いません。
- SISは当社製品でキャプチャされたビデオの録画、録画の試み、または編集中に講じられた不法行為に対して責任を負いません。
- SIS製品の主目的は法的なスポーツまたは地域法、州法、連邦法、国の法で見られるその他の活動。
- SISカメラアクセサリは、マウント、飾り紐およびその他の付属品を含め、アタッチメントおpしょんとして提供され、そのままの状態で販売されます。カメラをヘルメット、人、またはあらゆる種類の所有物に取り付けているとき、危害、負傷、または死亡の原因となる活動中に緩んだり取れなくならないように特別な注意を払って使用され、また手入れされる必要があります。
- SISはSIS製品の使用に起因する、結果として生じるまたは間接的損失、損傷、負傷、または死亡に対して補償いたしません。
- ここに言及したすべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に所有権があると見なされます。

Replay XD ®、Replay XD1080はカリフォルニア州、Stable Imaging Solutions, LLC.の製品です。

www.Replayxd.com

©2011 Stable Imaging Solutions, LLC., Replay XD ® All rights reserved.

FCC適合宣言の表示

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます:

(1) 電波障害を起こさないこと、

(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

ラジオとテレビ障害。本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。FCC規則パート15の下位区分に準拠するデジタル装置の制限に準拠するためには、付属のインターフェースケーブルを機器と一緒に使用する必要があります。

カナダICES-003声明

このクラスBデジタル機器はカナダICES-003に準拠しています。

RoHS

本装置は欧州で販売する場合、欧州連合のROHS指令2002/95/ECおよび他の欧州各国で採用される類似規制に準拠します。

CE認定

当社のアクセサリは

www.motozen-japan.jp

ですべてご覧になれます

HardCore Billet Chassis Mount

HardCore Billet Flat VHB Mount

HardCore Billet Tripod Mount

Aluminum SuctionCup Mount

VHB SnapTrays - 5 Pack

ProLens 37mm Adapter

Replay XD1080 Hardwire Kit

Replay XD Mic

Replay XD Tshirt

アクセサリ

LIFE'S IN HD... REPLAY IT.

Stable Imaging Solutions, LLC.の洗練されたブランド、Replay XD

販売技術サポート:
電話: 042-379-8842
販売/サポート: info@motozen-japan.jp

オフィスと管理:
月曜～金曜、午前10時～午後6時(太平洋標準時刻)

企業の住所 (USA):
Stable Imaging Solutions, LLC.
3709 Old Conejo Road
Newbury Park, CA 91320
U.S.A.

REV. 2012.4.1.0

www.motozen-japan.jp